

萬世の大路

令和7年度臨時総会の開催

4月17日万世コミセンに於いて開催されました。参加者は20名で、会則の一部改正や役員改選が議題であり審議の結果、事業計画と収支予算案は原案どおり可決されました。

会長には整備部長の菊地政信氏が選任されました。整備部長の後任には富樫修一氏を選出しました。前会長の梅津幸保氏は相談役として残留していただきました。

新任会長あいさつ



桑山 菊地 政信

4月から会長を引継ぎますので関係機関の皆様よろしく願います。文化庁により昭和53年から56年に渡って調査が行われ、「歴史の道百選」が選定されました。そこで萬世大路も選ばれました。当会は、平成3年11月18日

「萬歳の松保存会」（地区全戸加入）設立から15年後の平成18年3月31日に「歴史の道萬世大路・萬歳の松保存会」の名称で、機関紙「萬世の大路」創刊号を発行しました。

その後、平成24年には公益社団法人土木学会から萬世大路が土木遺産に認定され萬歳の松は萬世大路に含まれることから「歴史の道 土木遺産萬世大路保存会」と平成25年5月24日付けで再度名称を変更しました。当時の会長は故田畑 實氏であります。

先輩方の活躍によってこれまでにかずかずの受賞を受けてきました。これらは周囲の支えの賜物と感謝申し上げます。「廢道の聖地」とも呼ばれる山形の宝を後世に伝えて行くのを使命として運営する所存です。

私事になりますが、現在の住所は桑山一地区です。以前は赤浜地区が生活の場でした。祖先是明治9年の現地調査を案内したひとりです。山形県一等属高木秀明土木課長といっしょに散策したのかと思うと不思議な縁を感じます。最後に皆様のより一層のご教示・ご協力を重ねてお願い申し上げます。

萬世大路散策



牛森 来次 陽子

私は現在、コミュニティセンターの職員として、萬世大路の散策のお手伝いを続けています。参加し始めてからもう20年近くになり、今でも毎年楽しみにしています。

以前は、車が入れない山道だったため、背負子やリュックに50人分の山菜汁の材料を詰め込んで、片道4・1キロの道のりを歩いて運んでいました。山菜は現地調達で、ミズナやアイコなどをその場で皮をむいたり下処理をして、米沢らしく鯖缶を加え、味噌仕立てにしています。少ししょっぱいくらいが山道を登った体にちょうどよく、参加者の「美味しいねー」の一言が、すべての苦勞を報いてくれます。

山道では、花や木々が目を楽しませてくれます。特に、うつむいて咲くウラボシやウラボシの可愛らしい姿や、鳥の群れのように見えるノビネチドリ

第38号

令和7年9月1日発行

発行者

歴史の道 土木遺産萬世大路保存会
会長 菊地 政信

事務局

万世コミュニティセンター
☎0238-28-5381

題字は村山道雄元山形県知事

花に、毎年心を奪われています。

子どもたちと一緒に歩く機会も多く、熊に壊された太助茶屋跡の案内柱を見て「本当にクマがいるんだね！」と驚く様子に、自然のリアルさを実感します。

今では道路も整備され、荷物は車で隧道前まで運べるようになり、とても助かっています。隧道の中では、光に向かつて草花たちがまっすぐ伸びていて、その様子が毎回元気をもらいます。子どもたちが大人になった時に「あの隧道に行ったことあるよー」と思い出してくれるような、そんな記憶に残る散策を、これからも続けていきたいと思っています。

令和7年度

米沢観光推進機構通常総会

米沢市では、「米沢市版DMO」の取り組みとして令和4年から8年迄の5年間で国の助成金（半額）4億円強の予算を使い地域観光資源を生かし、観光産業の基盤整備（主にDXを活用し稼ぐ観光を目指す）を行っています。

萬世大路保存会としても、「米沢市観光振興拡大への一助として活躍したい」という主旨で、昨年7月1日付けで入会が認可されました。

会員の構成は、現在37団体加入していますが、具体的な中味は、まだ見えていない現状です。今後、我保存会に対し、どの様な助成があるのか？我々自身の問題点や要望を持ち掛けながら米沢の地域発展に寄与していきたいと考えております。